

急げ! 生団連災害情報ネットワークの構築

今年、山形県・新潟県など各地での地震、九州での豪雨、台風15号・19号、そして関東・東北を中心とする豪雨など大変多くの自然災害に見舞われました。被災された皆様、そして今も不便な生活を強いられている皆様には心よりお見舞い申し上げます。

生団連では発足以来、自然災害への備えに関する啓発活動や被災地への支援活動を継続してきました。現在は被災地支援を行う会員団体・関連団体と連携を取りながら、情報の発信および支援の呼び掛けを行うとともに、生団連としての情報と支援体制(生団連災害情報ネットワーク)の構築に向けて活動を行っています。

甚大な災害被害や被災された方々のご苦勞を目の当たりにし、この活動を急務として、一層強化していかなばならないとの意を強くいたしました。

災害支援報告

8月末の九州北部での豪雨の際には、生団連会員である一般社団法人 Smart Supply Vision様と協働し、生団連加盟企業様より佐賀県内のボランティアセンターへの物資支援が実現しました。また、今回は現地のニーズ状況の変化により見送りとなりましたが、他にも支援のお申し出をいただいた企業様がございました。ご支援・ご検討いただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

台風15号・19号被災地についても、Smart Supply Vision様に加え、認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム様からの情報を会員の皆様へ共有しております。復旧・復興には長い時間がかかります。支援できるというものがあれば、生団連事務局までお知らせください。

【支援内容】

- 飲料水
500mlペットボトル
24本入 10箱

事務局員ボランティア参加レポート

台風15号の被害が特に大きかった千葉県富津市にて、事務局より2名が災害ボランティア活動に参加しました。ボランティアセンターが、被災者からの支援ニーズ(がれき撤去、泥の掻きだし、廃棄家具の運搬など)と集まったボランティア人員のマッチングを行い、各被災者のもとへボランティアを派遣します。事務局員は、ある一人暮らしの方のご自宅に派遣され、割れて散らばった窓ガラスの除去などを行いました。



▲集まったボランティアの方々

◀ガラスの破片を除去する
塚原・川村マネジャー